

令和5年度 学力調査の結果と対応について

金沢市立金石中学校

4月実施の全国学力・学習状況調査（国・数・英）と石川県基礎学力調査（社・理）についてお知らせします。各教科で正答率が低かった問い(○)と課題を改善する対策(→)については次の通りです。

全国学力・学習状況調査	
教科	正答率が低かった問い(○)と課題を改善する対策(→)
国語	<p>○インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く</p> <p>○それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する</p> <p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)</p> <p>→ICT活用の頻度を高める。</p> <p>→漢字テストに意欲的に取り組めるような方策を考え実施する。「語句調べ」を工夫し、語彙力を高める活動を行う。</p> <p>→古典分野での基本事項等を確実に理解させる。また、根拠を挙げて説明させる場面を授業や定期テスト等に設ける。</p>
数学	<p>○2つの直線が平行であることを、三角形の合同をもとにして証明する</p> <p>→1人1台端末を使って、全体・グループ・ペア等で考えたことを説明する場面を、1つの章に1回以上はその場面を取り入れていく。</p> <p>→授業の終末でまとめるときに、教師がどのように問いかけをすればよいか、実践例や手立てを教科部会などで考えていく。</p> <p>→各学年とも2～3学期に学習する図形分野では、重点的に復習を取り入れ汎用的な概念を意識した指導を行う。</p>
英語	<p>○道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する</p> <p>○事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する</p> <p>○単語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる</p> <p>→スローラーナーが理解できるように、教科書の内容を授業の最後に日本語で丁寧に説明する。</p> <p>→自分で文を組み立てたり、適切に変化させたりする活動を積極的に取り入れる。</p> <p>→小単元の基本文を用いて、自分の考えやその理由を英語で表現していく活動を行う。</p>

石川県基礎学力調査

教科	正答率が低かった問い（○）と課題を改善する対策（→）	
社会	<p>○条件にあてはまる歴史上の人物を答える</p> <p>○条件にあてはまる歴史上の事象を答える</p>	<p>→基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るために、50分の授業で分かったことや身に付いたことを自分の言葉で簡潔にまとめさせるとともに、それを小单元ごとに見ることができるワークシートに記録させる。</p> <p>→宿題に確実に取り組ませるために宿題を出す間隔を短くする。</p> <p>→基礎・基本となる歴史上の人物や事象についての理解が不十分であることから、人物の業績や事象の内容を具体的に理解させる。</p> <p>→複数の資料を基に考察し、適切に表現することに課題が見られるため、2つの資料を比較したり、関連付けたりして考察する活動を多く取り入れる。</p>
理科	<p>○質量100gの物体にはたらく重力の大きさが1Nのとき、質量300gの物質にはたらく重力の大きさを答える</p> <p>○調べた結果と湿度表をもとに乾湿計の湿球温度計の示度を求め、最も適切なものを選択する</p>	<p>→課題意識をもたせるために、考察前に再度確認をして考えさせる。</p> <p>→実験や科学的な事象に関する資料を用いて、どの資料を見たら何が分析できるのかを、生徒同士の課題解決の中で明らかにする。</p>